



2023年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年6月5日

上場会社名 株式会社フジ・コーポレーション
コード番号 7605 URL <https://www.fujicorporation.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 文樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 多賀 睦実

TEL 022-348-3300

四半期報告書提出予定日 2023年6月14日

配当支払開始予定日

2023年7月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の業績(2022年11月1日～2023年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	26,587	7.1	4,052	11.5	4,179	10.5	2,897	12.2
2022年10月期第2四半期	24,827		3,634		3,782		2,583	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	148.13	147.86
2022年10月期第2四半期	126.35	126.10

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、2022年10月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期第2四半期	34,590	25,022	72.2	1,275.22
2022年10月期	31,528	22,528	71.3	1,151.77

(参考)自己資本 2023年10月期第2四半期 24,986百万円 2022年10月期 22,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		0.00		25.00	25.00
2023年10月期		12.50			
2023年10月期(予想)				12.50	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 期末配当金の内訳 2022年10月期 普通配当 22円50銭 特別配当 2円50銭

3. 2023年10月期の業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	1.0	5,200	2.9	5,500	2.2	3,750	1.6	192.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期2Q	19,970,000 株	2022年10月期	19,970,000 株
期末自己株式数	2023年10月期2Q	376,210 株	2022年10月期	441,610 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期2Q	19,560,173 株	2022年10月期2Q	20,446,891 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(修正再表示)	7
3. その他	8
販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2022年11月1日～2023年4月30日)における我が国の経済は、ウクライナ情勢の長期化とそれに伴った度重なる物価の上昇、原材料価格やエネルギー価格の高騰等、個人消費の回復には依然先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社におきましては、多雪だった日本海側でのスタッドレスタイヤの需要増加と、反対に温暖な冬となった太平洋側での夏タイヤの販売好調に加え、タイヤの値上げ前需要により、当第2四半期会計期間も好調な業績で終えることができました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は26,587百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益は4,052百万円(前年同期比11.5%増)、経常利益は4,179百万円(前年同期比10.5%増)、四半期純利益は2,897百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

品別売上高の状況は、タイヤ・ホイールは23,118百万円(前年同期比7.6%増)、用品は1,666百万円(前年同期比4.8%増)、作業料は1,803百万円(前年同期比2.6%増)となりました。また、販路別売上高の状況は、店舗売上高は16,189百万円(前年同期比5.2%増)、本部売上高は10,398百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は34,590百万円(前事業年度末比3,061百万円の増加)となりました。主な変動要因は、現金及び預金6,037百万円の増加、売掛金833百万円の減少、商品2,464百万円の減少、前払費用290百万円の増加などによるものであります。

また、負債は9,567百万円(前事業年度末比567百万円の増加)となりました。主な変動要因は、買掛金252百万円の減少、未払法人税等277百万円の増加及びその他流動負債519百万円の増加などによるものであります。

なお、純資産は25,022百万円(前事業年度末比2,494百万円の増加)となりました。主な変動要因は、利益剰余金2,409百万円の増加などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は6,847百万円(前事業年度末比6,037百万円増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は7,144百万円となりました。(前年同期は4,569百万円の獲得)

これは主に、税引前四半期純利益4,181百万円、減価償却費546百万円、売上債権の減少額759百万円、たな卸資産の減少額2,464百万円、前払費用の増加額290百万円、仕入債務の減少額252百万円、未払消費税等の増加額672百万円及び法人税等の支払額1,031百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は602百万円となりました。(前年同期は517百万円の使用)

これは主に、有形固定資産の取得による支出502百万円、無形固定資産の取得による支出47百万円及び建設協力金の支払による支出76百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は504百万円となりました。(前年同期は901百万円の使用)

これは主に、リース債務の返済による支出16百万円及び配当金の支払額488百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、当第2四半期会計期間において、将来予測について合理的に把握することが困難なため、現段階においては、2022年12月15日に公表しました「2022年10月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の業績予想を据え置くことといたしました。なお、業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	816,319	6,853,515
売掛金	3,615,071	2,781,583
商品	9,622,548	7,158,470
前払費用	773,307	1,063,724
未収入金	1,461,241	1,515,292
その他	119,653	70,652
貸倒引当金	△19,782	△19,782
流動資産合計	16,388,359	19,423,456
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,977,341	7,977,341
減価償却累計額	△2,364,568	△2,534,704
建物(純額)	5,612,772	5,442,636
土地	3,059,515	3,059,515
その他	9,691,812	10,150,256
減価償却累計額	△5,246,358	△5,570,468
その他(純額)	4,445,454	4,579,787
有形固定資産合計	13,117,742	13,081,939
無形固定資産	244,224	251,253
投資その他の資産	1,778,364	1,833,587
固定資産合計	15,140,331	15,166,780
資産合計	31,528,690	34,590,236

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,531,717	3,279,657
未払法人税等	1,095,472	1,373,277
賞与引当金	84,880	87,510
前受金	925,684	851,601
前受収益	1,032,861	1,127,277
その他	967,465	1,487,305
流動負債合計	7,638,082	8,206,629
固定負債		
退職給付引当金	305,208	319,944
資産除去債務	243,618	245,000
リース債務	569,358	552,928
その他	243,847	243,097
固定負債合計	1,362,032	1,360,970
負債合計	9,000,114	9,567,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,515	1,236,515
資本剰余金	1,273,115	1,302,860
利益剰余金	20,354,284	22,763,559
自己株式	△371,640	△316,599
株主資本合計	22,492,275	24,986,335
新株予約権	36,300	36,300
純資産合計	22,528,575	25,022,636
負債純資産合計	31,528,690	34,590,236

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年11月1日 至2023年4月30日)
売上高	24,827,233	26,587,990
売上原価	16,459,661	17,665,702
売上総利益	8,367,571	8,922,288
販売費及び一般管理費	4,733,009	4,870,242
営業利益	3,634,562	4,052,046
営業外収益		
受取利息	2,264	2,672
不動産賃貸料	12,240	27,840
受取保険金	98,125	70,268
その他	48,072	45,851
営業外収益合計	160,702	146,633
営業外費用		
支払利息	2,171	3,319
不動産賃貸費用	3,615	7,337
その他	7,387	8,622
営業外費用合計	13,174	19,279
経常利益	3,782,090	4,179,399
特別利益		
固定資産売却益	493	1,680
特別利益合計	493	1,680
税引前四半期純利益	3,782,584	4,181,080
法人税等	1,199,082	1,283,595
四半期純利益	2,583,501	2,897,485

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,782,584	4,181,080
減価償却費	568,651	546,766
株式報酬費用	49,214	67,027
賞与引当金の増減額(△は減少)	920	2,630
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,125	14,735
受取利息及び受取配当金	△2,264	△2,672
支払利息	2,171	3,319
固定資産売却損益(△は益)	△493	△1,680
売上債権の増減額(△は増加)	833,659	759,404
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,110,401	2,464,078
前払費用の増減額(△は増加)	△257,234	△290,417
未収入金の増減額(△は増加)	356,204	△54,051
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,248,293	△252,060
前受収益の増減額(△は減少)	237,996	94,415
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,925	672,557
その他	△2,906	△28,237
小計	5,418,813	8,176,896
利息及び配当金の受取額	2,264	2,672
利息の支払額	△2,171	△3,319
法人税等の支払額	△849,369	△1,031,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,569,536	7,144,552
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の純増減額(△は増加)	△68,990	4,214
有形固定資産の取得による支出	△119,667	△502,564
有形固定資産の売却による収入	745	1,954
無形固定資産の取得による支出	△37,562	△47,040
建設協力金の支払による支出	△300,000	△76,692
その他	8,124	17,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△517,350	△602,173
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△12,864	△16,224
自己株式の取得による支出	△428,931	—
配当金の支払額	△459,824	△488,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△901,621	△504,739
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,150,564	6,037,638
現金及び現金同等物の期首残高	2,391,609	809,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,542,173	6,847,391

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の算出方法

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

3. その他

販売の状況

(品種別売上高)

品種	前第2四半期累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	
	売上実績(千円)	構成比(%)	売上実績(千円)	構成比(%)
タイヤ・ホイール	21,479,437	86.5	23,118,129	86.9
用品	1,590,174	6.4	1,666,447	6.3
作業料	1,757,621	7.1	1,803,413	6.8
合計	24,827,233	100.0	26,587,990	100.0

(販路別売上高)

形態	前第2四半期累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	
	売上実績(千円)	構成比(%)	売上実績(千円)	構成比(%)
店舗売上	15,389,494	62.0	16,189,176	60.9
本部売上	9,437,738	38.0	10,398,813	39.1
合計	24,827,233	100.0	26,587,990	100.0